

## 河川に必要な水の確保の対策案 1 (ダム案) について

## ■整備内容

## 【位置】

現計画ダム地点

## 【流水の正常な機能維持容量】

内ヶ谷ダム 容量 約 600 千 m<sup>3</sup>

## ■長所

- ・ 河川を横過して築造される構造物であり、ゲートを閉めることで、流水の貯留が可能。
- ・ 選択取水設備を設けることにより、ダム上下流の河川水温、水質変化を軽減できる。

## ■短所

- ・ ダムにより、上流から下流への土砂の供給が絶たれる。
- ・ 亀尾島川に対する自然環境への負荷が高い。

## ■概略事業費

総事業費 約 74.2 億円

- ・ ダム建設残事業費※ 約 74.2 億円

※：ダム残事業費は、流水の正常な機能の維持負担分

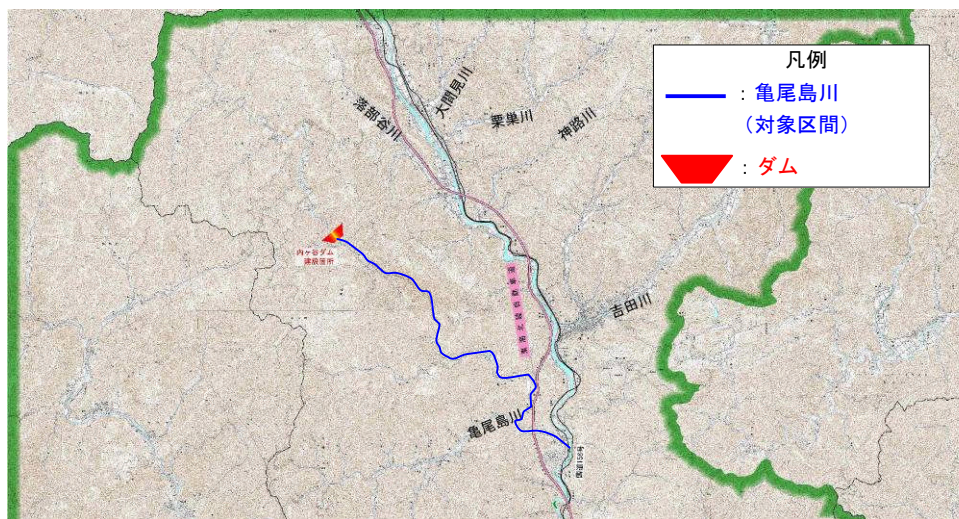


図-1.1 ダム (内ヶ谷ダム) 案 位置図